



# 瀬戸小だより

ふれ合う 認め合う 共に学ぶ 笑顔あふれる瀬戸ヶ谷小学校

mail:y3setoga@edu.city.yokohama.jp <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/setogaya/>

学校だより 12月号  
令和2年11月30日  
横浜市立瀬戸ヶ谷小学校  
校長 松永 淳子  
TEL 713-8336 FAX 713-9749

瀬戸ヶ谷小学校

検索 

## 育む 「心」

校長 松永 淳子

早いもので、今年のカレンダーも最後の一枚となり、朝の寒さが身に染みる季節がやってきました。校庭の木々の葉がすっかり落葉し、見ているだけでも寒さを感じます。それでも毎朝子どもたちは元気いっぱいに登校し教室に向かっていきます。令和2年度はコロナ禍による分散登校から始まりましたが、それぞれの学年の校外学習もお天気に恵まれ無事実施でき、子どもたちのきらきら輝く笑顔を早朝から見られうれしく思いました。保護者の皆様には、お弁当作りや学校へのお迎えなど様々な場面でご理解ご協力をいただきましたこと心より感謝申し上げます。

さて、毎年12月10日は「人権デー」と定められています。そして、12月4日から12月10日は人権週間となっています。本校でも11月30日から12月4日を入権週間とし、子どもたちが人権について考えることができるようにしました。皆さんは、「人権」というとどのようなことを思い浮かべますか。「自由、平和、平等、基本的人権」など様々な言葉が浮かぶのではないのでしょうか。子どもたちに人権について考えてみようといいかけても、この意味を理解し言動に繋げていくことは容易いことではありません。まず、「人権」という言葉そのものが子どもたちにとっては難しいので、どのように理解したらよいか分からないということになります。校内に入権について考えることができるポスターを2枚掲示しています。そこには大きな文字で「ひろげよう みんなのやさしさ おもいやり」「大切にしよう 人を思う心」と書かれています。どちらのポスターにも共通して描かれているのは暖色で塗られたハートのマークです。子どもたちもこのハートを手掛かりにすると人権について考えることができるはずです。色から何か温かい気持ちになれること、ハートから心を連想することができます。そして「みんなが温かい気持ちや心になれること」に繋がっていくことでしょう。次にどのようにすれば、そのような気持ちや心になれるのか考えることができます。つまり、具体的な行動に繋げていくことを考えます。子どもたちは今までの生活経験から、自分がどんな時温かい気持ちになれるのか、また逆にどんな時嫌な気持ちになったのかを考えたりし、そういうことはしないようにしようと思うはずです。家庭でのこと、学校での友達同士のこと、先生とのこと等いろいろな場面を思い浮かべることでしょう。経験の多い高学年の子どもたちは様々な場面から思いを巡らせることができますし、低学年の子どもたちも自分の経験から印象深いことに思いをもつことができます。大切なことは、これら一連の思いの中で、相手意識を持つことや自分のこれまでの言動について振り返り、これからの生活や自分の生き方について考え、その考えを深めたり広めたりしていくことです。また、私たち大人に求められていることは、子どもたちにどのような経験や体験を残すことができ、どのように考えを巡らすことができる子どもたちに成長していく力を育てていくことができるのかということではないのでしょうか。瀬戸ヶ谷小学校の学校教育目標の一つ徳育は、「相手を思いやり、よさを見つけながら、力を合わせて活動する力をつけます」です。①相手を思いやる②よさをみつける③力を合わせて活動するという三つのことを日々の教育活動に繋げながら取り組んでいます。心を育むことは一朝一夕にはできません。保護者や地域の皆様と力を携え、子どもたち一人ひとりを大切に育てていきたいと考えております。どうぞご協力よろしくお願ひ申し上げます。

少し早い挨拶となりますが、令和2年も様々な場面でお力添えをいただきありがとうございました。寒くなりますが、お身体を大切に年末年始お過ごしください。